



千葉労働動力

国鉄千葉動力車労働組合

〒260-0017 千葉市中央区要町2番8号(DC会館)
電話 (鉄電) 千葉2935・2939番
(公) 043(222)7207番
FAX 043(224)7197番

2000.12.7 No. 5235

「シニア制度」差別地労委始まる 千労委は「実効確保」の勧告を早急に出せ

十一月二八日、千葉地労委において、「シニア制度」差別事件の第一回調査が行なわれた。第一回調査の中で動労千葉は、八月中旬以降、「シニア制度」対象者には「再雇用の場一覽」が配布され、採用試験が行なわれるなど、「再雇用の機会提供」を拒否された浅野さん、三平さん、羽鳥さんの被る不利益が日に日に拡大しているという実情を訴え、これ以上の不利益の拡大を防ぐためにも「実効確保」の勧告を早急に行なうように迫った。

十一月二八日、千葉地労委に即妥結し、当日夕方には官舎等において「第二の雇用安定協約を締結」したとして、JR東労組に所属していただければ「再雇用の機会」が提供されないと、デマ宣伝を流しながら動労千葉や国労などに対して露骨な組織破壊攻撃をおこなってきた。まさに、JRとJR総連革マルが一体となった不当労働行為に他ならない。

「シニア制度」は組合差別だ！

「シニア制度」は「検修・構内外注化」阻止

千葉機関支部第5回定期大会開催！

千葉機関区支部第五回定期大会が、十一月二四日千葉機関区構内で開催されました。大会は、本部から中野委員長、布施・君塚両副委員長、田中書記長が参加し、十二時十五分より、来賓、組合員三十名の結集で始まりました。冬木副支部長の開会のことばののち、議長に鈴木文敏君を選出し議事が進められました。出場支部長は、あいさつで「貨物格差は益々拡大し、年末手当はまたも、超低額・格差回答が言われています。また十二月二日のダイヤ改で貨物ルートが、総武線から京葉ルートに移る。訓練は終わったがまだまだ不安はあると思う。乗務員会を中心に闘っていきたい。今後も組合員の皆さんのご協力をお願いした」と訴えた。

- 支部乗務員分科会の報告と当面の課題について
 - JR総連の拉致事件など、なにかいきているのか。また組織拡大は具体的にどうなっているのか。
 - 支部乗務員分科会の報告と当面の課題について
 - 貨物が京葉ルートになるが、乗務内容がどうなるか。
 - JR総連の拉致事件など、なにかいきているのか。また組織拡大は具体的にどうなっているのか。
- | | | |
|------|------|-----|
| 支部長 | 的場正和 | 主運士 |
| 副支部長 | 宮内正志 | 運転士 |
| 書記長 | 大竹哲治 | |
| 書記次長 | 樋口徳浩 | |
| 執行委員 | 石川二郎 | |
| | 鎌形哲男 | |
| | 中台政幸 | 事務主 |
| | 山本茂雄 | 車技主 |

大失業と戦争の時代に通用する新しい世代の動労千葉を創りあげよう！